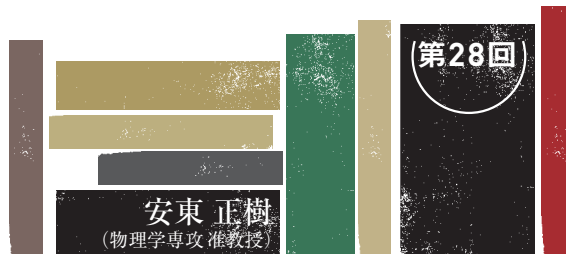


理学の本棚

「重力波で見える宇宙のはじまり」

宇宙はどうやって始まったのだろうか？宇宙の基本法則とは何だろうか？本書は、そのような素朴な疑問に対して、現代の物理学・天文学の最先端の知見から答える一冊である。宇宙の進化を支配する「重力」を主題としており、さらに話題は宇宙の始まり、量子論や真空、ダークエネルギー、ブラックホール、そして重力波にまで広がる。そのようなイメージしにくい概念が、数式をほとんど用いずに、例え話を駆使して丁寧に説明されている。「知識」ではなく「考え方」を伝えようとする意識が随所に見られ、初めて触れる読者にとっては、何となく分かったような気にさせてくれるし、すでに勉強したことのある読者にとっては本質についての新たな発見があるかもしれない。

本書は2016年に出版されたフランス語の原著第2版を筆者（安東）らが和訳したものである。原著の論理的な記述や段落構成と、一般向け和書の流儀との違いに苦勞しつつも、ブルーバック編集部和協力しながら、できるだけ原著の雰囲気そのまま伝えることを心掛けた。著者のピ



エール・ビネトリユイ（Pierre Binétruy）氏はフランスの理論物理学者。宇宙重力波望遠鏡LISAプロジェクトの推進にも尽力した。主宰した一般向けオンライン講座「Gravity!」は丁寧な語り口が評判で、世界で7万人以上が受講したそうだ。たいへん残念なことに、ビネトリユイ氏はこの和訳書が出版される数か月前、2017年4月に逝去された。その知性と穏やかさを兼ね備えた人柄も本書から感じてもらいたい。



ピエール・ビネトリユイ（著）、
安東正樹（監訳）、岡田好恵（翻訳）
「重力波で見える宇宙のはじまり」
講談社（2017年8月17日出版）
ISBN 978-4065020272

お知らせ

東京大学理学部オープンキャンパス2018のお知らせ

広報委員会

毎年ご好評をいただいております理学部オープンキャンパスは、今年も2日間開催されます。多くの方々が理学部の活動と魅力を共有することができるよう願っております。みなさまのご来場をお待ちしております。

- 【日時】 2018年8月1日（水）13:00～16:30（プレオープン・半日開催）
8月2日（木）10:00～16:30（メイン・全日開催）
- 【場所】 東京大学本郷キャンパス 理学部1号館（理学部総合受付）
- 【参加】 事前登録なしでどなたでもご参加いただけます。

東大理学部 オープンキャンパス

検索



理学部オープンキャンパス2018ポスター

新任教員紹介

新しく理学系研究科教授会構成員となった教員を紹介します。

柏川 伸成 Kashikawa, Nobunari

役職 教授
所属 天文学専攻
着任日 2018年5月1日
前任地 国立天文台
キーワード
銀河天文学, 初期宇宙

Message

遠方宇宙の観測を通じて、なぜわたしたちがこの宇宙に生きているのか、どうして宇宙はこんなに美しいのか、を知りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



竹内 一将 Takeuchi, Kazumasa

役職 准教授
所属 物理学専攻
着任日 2018年5月1日
前任地 東京工業大学
キーワード
非平衡物理学

Message

流体、ソフトマター、生命など、様々な現象と関わりながらも基礎原理のわかっていない非平衡系について、その法則性の一端を見られるような研究をしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



國枝 武和 Kunieda, Takekazu

役職 准教授
所属 生物科学専攻
着任日 2018年5月16日
前任地 生物科学専攻
キーワード
極限生物学, 再生生物学

Message

宇宙にも耐えるクマムシの極限環境耐性や、カエルの器官再生など、生命の見せる驚異的な能力に興味をもって研究しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



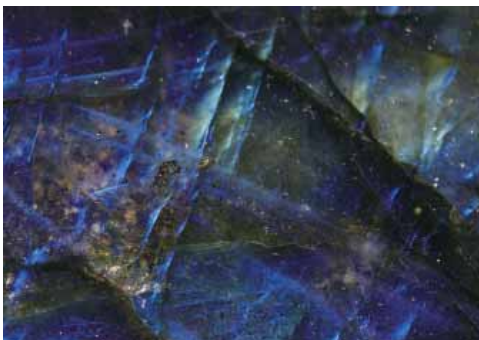
おしらせ

理学部イメージコンテスト2018展示のお知らせ

広報委員会

理 学部オープンキャンパス中に開催の「理学部イメージコンテスト2018」を、今年も理学部1号館サイエンスギャラリーにて行います。理学部の学生や教員から応募された、美しい研究対象やわくわくするような研究データなどのイメージを多数展示いたします。東京大学理学部オープンキャンパス2018へお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。

【過去のイメージコンテスト最優秀作品より】



2015年度最優秀賞「小さな宇宙船」
大野 遼（地球惑星科学専攻 修士課程1年生）



(左) 2016年度最優秀賞「4次元クライン群の極限集合」
(上) 2017年度最優秀賞「ヴィラルソーの円の紙模型」
河野 俊文（数理科学研究科教授）

東大理学部で考える女子中高生の未来2018

男女共同参画委員会・広報委員会

理系？文系？理系の大学を卒業した後の進路はどうなるの？
さまざまな分野で活躍する理系女子の先輩たちが、進路決定に役立つ情報をお話いたします。将来に不安を感じる女子中高生の皆さん、保護者・教員の皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2018年8月25日(土) ※会場9:30
午前の部 10:00～13:00 (生徒さんのみランチ付)
午後の部 13:30～16:00

【会場】 東京大学本郷キャンパス 理学部1号館2階小柴ホール

【対象】 女子中高生80名 保護者・教員60名

【申込】 参加無料・事前申込制(先着順)
※親子で参加される場合でも個別に申し込みをお願いします。

東大理学部女子中高生の未来

検索



女子中高生の未来2018ポスター

博士学位取得者一覧

(※) は原題が英語 (和訳した題名を掲載)

種別	専攻	取得者名	論文題名
2018年4月23日付(6名)			
課程	物理	小松 雄哉	原子核中の ϕ 中間子の質量分布精密測定のための革新的電子対検出器の開発(※)
課程	物理	山本 亮	地球磁場を用いたアクシオン様粒子起因のX線背景放射の探索(※)
課程	化学	西尾 洸祐	ラボオートメーションの環状ペプチド創薬への展開(※)
課程	化学	西岡 拓紀	ペロブスカイト太陽電池及び有機固体レーザーへの応用を指向した π 共役系化合物の合成開発(※)
課程	生化	今村 聖路	哺乳類の概日時計を制御する細胞ストレス応答(※)
課程	生科	岡田 甫	転写因子 Krüppel-like factor 5 による肝障害時における肝内胆管の適応的リモデリング(※)
2018年5月31日付(2名)			
課程	地惑	伊藤 理彩	中部太平洋地域の環礁堆積物中の微量元素の挙動と土壌化に関する地球化学的研究(※)
課程	生科	山岸 弦記	ニホンヤモリにおけるインスリンの分子進化と代謝因子の季節制御に関する研究(※)

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2018.5.1	天文	教授	柏川 伸成	採用	国立天文台准教授から
2018.5.1	物理	准教授	竹内 一将	採用	東京工業大学准教授から
2018.5.1	地惑	客員准教授 (GSGC)	Occhipinti Giovanni	採用	
2018.5.1	地惑	特任助教	大畑 祥	採用	
2018.5.16	生科	准教授	國枝 武和	昇任	生科専攻助教から
2018.5.16	植物園	助教	望月 昂	採用	
2018.5.16	化学	特任助教	PEACOCK HAYDEN JARED	採用	
2018.5.16	化学	特任助教	BAS SEBASTIAN PIOTR	採用	
2018.5.31	地惑	准教授	関根 康人	退職	東京工業大学地球生命研究所教授へ
2018.5.31	化学	特任助教	YOO WOO JIN	退職	
2018.5.31	生科	特任助教	小口 祐伴	退職	
2018.5.31	原子核	特任助教	BELIUSKINA OLGA	任期満了退職	
2018.6.1	グリーン・サステイナブル・ケミストリー	特任講師	YOO WOO JIN	採用	
2018.6.1	ビッグバン	特任助教	藤 亜希子	採用	
2018.6.1	学生支援室	助教	樋口 紫音	採用	
2018.5.1	経理	経理チーム係長	片岡 一夫	配置換	低温センター係長から